# Thermofinder Pro 取扱説明書

## 皮膚赤外線体温計

## 型式 FS-300

管理医療機器

医療機器承認番号 22400BZX00011000

Ver 1.0 1001

# 目次

## 01. はじめに

- この冊子は HuBDIC 社製、皮膚赤外線体温計 サーモファインダーPro(型式 FS-300)の取扱説明書です。
- 説明書を注意深くお読みください。
- 本書は保証書を兼ねていますので、紛失しないように保管してください。

## 02. サーモファインダーPro の活用法

体温測定:"体温計"モードに切り替え､額の中心から 2～3cm に近づけて体温を測定します。

浴温測定:"温度計"モードに切り替え､浴面 2～3cm に近づけて浴温をチェック測定します。
体温計に水がかからないよう、ご注意ください。

哺乳瓶の温度測定:"温度計"モードに切り替え､哺乳瓶から 2～3cm に近づけて測定します。

※その他物体の測定、気温測定など、体温以外の測定は全て"温度計"モードで測定します。

## 03. 作動原理

- 体温を保った血液が額の側頭動脈を流れる時、体温に相当する赤外線が発生します。この赤外線より体温が測定できます。
- 本品は赤外線の波長を検知して温度表示に変換しており、本品から赤外線、レーザー等を照射しているわけではありません。

## 04.　機能

- 夜間の使用に便利な、LED ライトを装備
- デジタル液晶ディスプレィ
- 体温測定と広域な温度測定機能を備えたマルチ測定機能
- 最大 32 件の“体温計”モードの測定結果メモリ機能
- 測定音の On/Off 切替機能
- 摂氏/華氏の表示選択機能
- 衛生面を考慮した非接触式測定機能
- 小さな手の方でも操作が容易なガンタイプ設計
- 省電力機能：　操作後 1 分で電源 off
- 2 個の単 4 形アルカリ乾電池を使用

## 05.　使用上の注意

**【重要な基本的注意】**

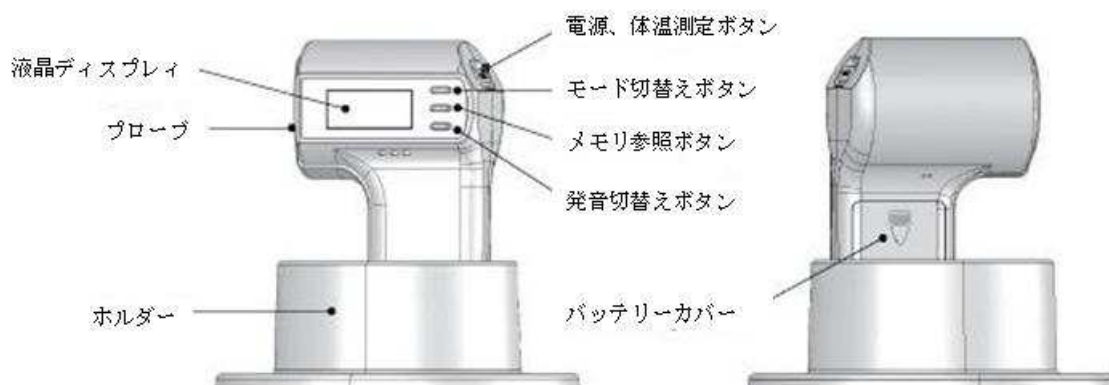
- 破損又は故障した場合には使用を中止し、販売店等を通じて修理依頼をしてください。
- 改造及び修理はしないでください。本品の修理は承認された技術者に限られます。また改造による破損や故障は保証対象外となります。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り外し、安全な場所で保管してください。取り外した電池は、分別しまとめてください。

**【使用方法に関連する使用上の注意】**

- 小児や乳児を測定する場合、額とセンサーの距離が維持できずに、正しい測定結果が得られない場合があります。落ち着かせてから、測定してください。
- 温度が安定する屋内で測定してください。
- 室内でも扇風機、温風機、エアコンなどの空気の流動を起こす機器が作動している部屋では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- 運動の後、雨天時、帰宅直後、シャワーの後、保冷パックなどのアイシング処置後等では、正しい測定結果が得られない場合があります。
- 額の中心で測定を行ってください。測定部位によって表示温度は異なります。
- 髪、メガネ、異物等が、額と体温計の間に入らないようにしてください。
- バッテリー残量が少ない場合は、正しい測定結果が得られない場合があります。新しい電池に交換し、再度測定を行ってください。
- -20～50℃、95%RH 以下の環境下で保管できていなかった場合は、使用前に 15～40℃で 30 分置いてください。
- 額との距離が離れすぎた場合や、ぶれ等によって位置がずれた場合は、正しい測定結果が得られない場合があります。額との距離（2～3cm）を確認し、しっかり固定して測定を行ってください。

## 06.　警告

- 体温計を水、その他の液体に浸さないでください。
- 乳児が口に含むことがないようにしてください。
- 本体を落下させる等の衝撃を加えないでください。［故障の原因となります］
- プローブ内に、いかなる異物も挿入しないでください。［正しい測定結果が得られない場合があります］
- -20℃以下や 50℃以上、また 95%RH を超える環境下で保管しないでください。
- 15℃以下や 40℃以上、また 90%RH を超える環境下で使用しないでください。
- 使用する前に、取扱説明書をよく読んでください。
- 補正温度表示（体温計モード）は本品の副次的機能であり、必ずしも舌下体温と一致するとは限りません。

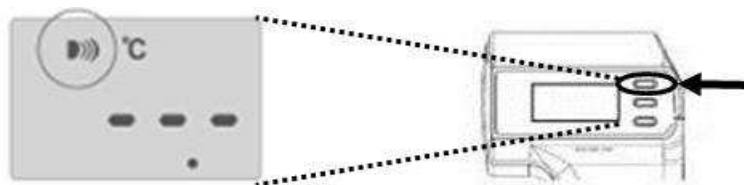
## 07.　製品概要

### 表示記号

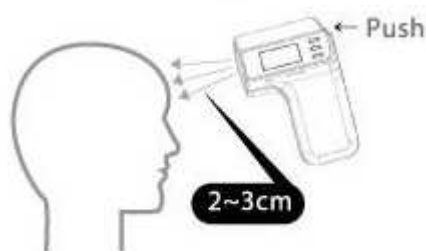
| | |
|---|---|
| **MOD** | モード切替えボタン |
| **START** | 電源、温度測定ボタン |
| **MEM** | メモリ参照ボタン |
| | 発音切替えボタン |
| | バッテリー残量少 |
| **°C °F** | 温度単位（摂氏℃及び華氏°F） |
| | 体温計モード |
| | 温度計モード |
| | メモリ表示（図は８番目を指す） |

## 08.　使用方法

体温測定

1. 本品の START ボタンを押して、電源を入れます。

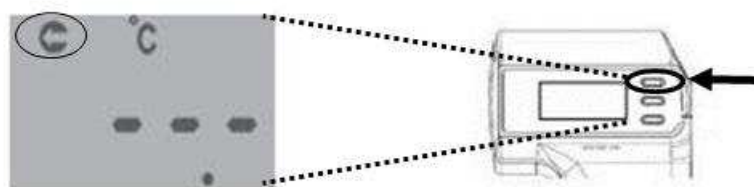
2. MOD ボタンを押して、“体温計”モード（ 🔊 ）に変更してください。

※電源を入れた時は、“温度計”モード（ ）になっています

3. 額の中心から 2～3cm 離して、START ボタンを押し、計測終了を知らせる「ピー」という音が鳴り終わったら（約 2 秒)、液晶ディスプレィで測定した体温をチェックします。

※START ボタンはワンプッシュするだけで測定されます。START ボタンを 2 秒以上押し続けないでください。正しく体温測定されない場合があります。また、強く押し続けると、故障の原因になる場合があります。
※額との距離が離れすぎた場合や、ぶれ等によって位置がずれた場合は、正しい測定結果が得られない場合があります。額との距離（2～3cm）を確認し、しっかり固定して測定を行います。

4. 何も操作をしないと、1 分後、自動的に電源が切れます。

5.　START ボタンを押し、連続して検温できます（電源を切る必要はありません）。

体温以外の測定

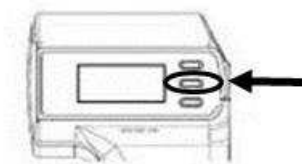
1.　MOD ボタンを押して、“温度計”モード（　　）に変更してください。

2.　測定対象から 2～3cm 離して、START ボタンを押し、計測終了を知らせる「ピピッ」という音が鳴り終わったら（約 2 秒)、液晶ディスプレィで測定した温度をチェックします。(“体温計”モード”とは異なる音が鳴ります)

※START ボタンはワンプッシュするだけで測定されます。START ボタンを 2 秒以上押し続けないでください。正しく温度測定されない場合があります。また、強く押し続けると、故障の原因になる場合があります。
※測定対象との距離が離れすぎた場合や、ぶれ等によって位置がずれた場合は、正しい測定結果が得られない場合があります。測定対象との距離（2～3cm）を確認し、しっかり固定して測定を行います。
※“温度計”モードでの測定温度はメモリに保存されません。

3.　何も操作をしないと、1 分後、自動的に電源が切れます。

4.　START ボタンを押し、連続して検温できます（電源を切る必要はありません）。

## メモリチェック

1. MEM ボタンを押します。

2. データは直近のデータ(1)から、以前のデータ(2～32)の順に保存されています。
MEM ボタンを押すと、カウントを続け、保存されている順に表示されます。ボタンを押さない場合は、保存した温度を表示し続けます。何も操作をしないと 30 秒後に"温度計"モードに切替ります。

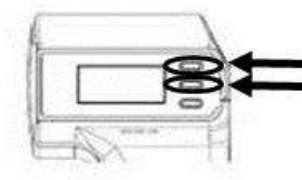
※"温度計"モードはメモリに保存されません。

## 発音切替え

- サウンドモードとサイレントモードの切替えができます。

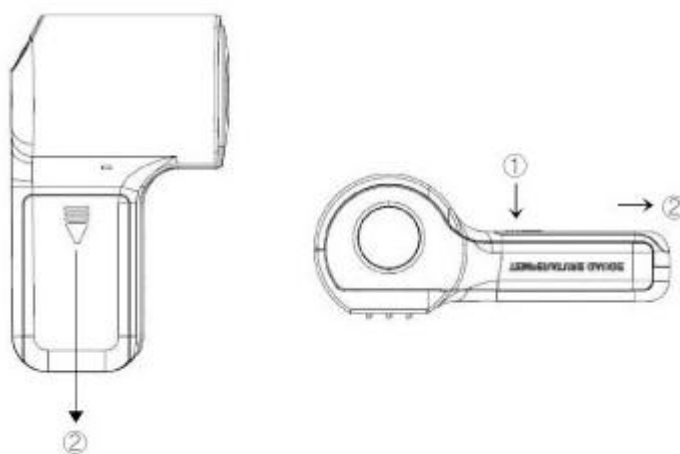
- 発音切替えボタンを押して、体温計をサイレントモードに切替えます。
- サイレントモードでは、測定時またはモード切替え時に音は出ません。
- 初期設定はサウンドモードです。
- 体温計の電源が切れた場合、電源を投入すればサウンドモードに戻ります。

## 温度単位切替え

- 摂氏（℃）から華氏（℉）へ切替わるまで、MOD ボタンと MEM ボタンを同時に押し続けます。華氏から摂氏の切替えも同様です。

- 設定が済めば設定値は保存されます。電源が off になっても、また、電池が抜き取られても、摂氏・華氏表示は切替りません。

## 09.　電池交換

電池交換の手順は以下のとおりです。(本品は単 4 形アルカリ乾電池を 2 個使用します)

1. 体温計側面のバッテリーカバー①を押しながら、矢印方向②へスライドします。
2. 使用済みの電池を取り出し、新しい電池に交換します。この時、電池の極性を確認します。
3. バッテリーカバーを閉じます。

➢ 使用済み電池は環境汚染を引き起こすことがあります。各自治体の指示にしたがって正しく処分してください。

## 10.　製品仕様

| 項目 | 説明 |
|---|---|
| 測定方式 | 赤外線測定、非接触測定 |
| 表示温度 | 実測及び補正温度 |
| 基本機能 | マルチモード測定（“体温計”モード、”温度計”モード） |
| | 摂氏（℃）/華氏（℉）切替え機能、メモリ機能、発音制御(on/off) |
| 周囲温度範囲 | 15～40℃、湿度 90%以下 |
| 保管温度 | -20～50℃ |
| 測定部位 | 額の中心から 2～3cm |
| 表示温度範囲<br>最大許容誤差 | “体温計”モード：34.0～42.5℃ |
| | ±0.2℃(35.5~42.0℃)<br>±0.3℃(34.0~35.4、42.1~42.5℃) |
| | “温度計”モード：15.0～60.0℃ |
| | ±0.2℃(35.5~42.0℃)<br>±0.3℃(22.0~35.4、42.1~42.5℃)<br>±1.0℃(15.0~21.9、42.6~60.0℃) |
| 測定時間 | 継続使用において 2 秒以内 |
| 最小表示単位 | 0.1℃ |
| モード選択 | “体温計”モード、”温度計”モード |
| メモリ機能 | 自動メモリ機能、メモリボタンを使用して測定結果のチェック |
| | メモリ保存最大 32 件 |

| 音 | ボタン音、測定音、結果音 |
|---|---|
| | 発音切替えボタンで、サウンドモード／サイレントモードの切替えが可能 |
| 画面 | 液晶ディスプレィ(モノラル LCD) |
| 表示 | |
| | “体温測定”、“温度測定”、メモリ機能 |
| | インデックス(バッテリー残量少、“体温計”モード、”温度計”モード、摂氏（℃）/華氏（℉））) |
| | 測定可能範囲外のエラー表示（Hi , Lo） |
| ボタン | 電源投入（測定)、モード切替え、メモリ参照、発音切替え |
| バックライト機能 | 測定後 3 秒間点灯、自動消灯 |
| 省電力機能 | 使用後 1 分経過で自動電源遮断 |
| 構成品 | 本体(1)、ホルダー(1)、取扱説明書(1)、添付文書(1)、4 形乾電池(2) |
| 定格電源電圧 | 直流電源 3V(単 4 形 1.5V 乾電池 2 個) |
| 測定回数 | 5,000 回以上 |
| サイズ | 63mm(W) x 42mm(D) x 103mm(H) (ホルダー含まず) |
| 重量 | 120g (ホルダー、電池含まず) |
| 製造元、国名 | HuBDIC CO .,LTD、韓国 |

【機械の分類】
- 電撃に対する保護の形式による分類： 内部電源機器
- 電撃に対する保護の程度による分類： BF 形装着部

## 11.　洗浄及び保管

- 本品は清潔かつ破損のないように保管してください。またプローブ内にはいかなる異物も挿入しないでください。[センサー部に傷が生じることがあります]
- 無水アルコールを含ませた綿棒で、センサー部を注意深く清掃してください。
- 本体の汚れがひどい場合は、水または中性洗剤をしみ込ませた布をかたく絞って拭き取った後、柔らかい布でから拭きして下さい。
- 汚れを落とすときは、ベンジン、シンナーなどを使用しないでください。
- 本体は防水仕様ではありません。アルコールを過度に含んだ酒精綿などで清拭すると、本体内部に水分に入り、故障に繋がる恐れがあります。
- 超音波洗浄をしないでください。
- 測定後に保管する場合は、体温計に同梱されたホルダーを使用してください。
- 過度な摩耗が繰り返されると、塗装がはがれる恐れがあるので、丁寧に扱ってください。
- 下記のようなところには保管しないでください
  - ✓ 水のかかる所
  - ✓ 高温多湿の所、直射日光が当たる所、暖房器具のそば、塵・埃又は汚染物質の生じる所、塩分などを含んだ空気の影響を受ける所
  - ✓ 傾斜、振動、衝撃のある所
  - ✓ 化学薬品の保管場所や腐食性ガスの発生する所
- -20～50℃、95％RH 以下の環境下で保管してください。

## 12. トラブルシューティング

エラー表示

| | | | |
|---|---|---|---|
| | 周囲温度が 15℃～40℃の範囲外。（体温計を常温で 30 分間放置し、再度測定する） | | システム初期化：電池交換の際、一時的に表示されます。 |
| | “体温計” モードの場合、標的対象が 42.5℃以上。“温度計” モードの場合、標的対象が 60℃以上。（測定の対象を確認する(標的対象が測定可能範囲内か確認する)） | | バッテリー残量少：電池を交換します。 |
| | 体温計” モードの場合、標的対象が 34℃以下。“温度計” モードの場合、標的対象が 15℃以下。（測定の対象を確認する(標的対象が測定可能範囲内か確認する)） | | バッテリー残量少による機能停止：新しい電池に交換します。 |

体温が低めに表示されるケース

- 本品を検温直前まで、暖房器具の吹き出し口など熱気が直接当たるところに置いたため、本体の温度が室温より高くなっている。
- 20℃未満の環境で測定した（この場合、液晶ディスプレィ画面の LED（バックライト）が点滅することで使用者に警報を発します)。
- 測定直前まで、頭部（額・後頭部）への保冷パック・氷枕などのアイシング等体温を下げる処置を実施していた。
- 測定モードの切り替えを誤り、“体温計”モードではなく、“温度計”モードにて測定していた。
- 汗、髪の毛、ファンデーション、メガネなど障害物が影響していた（特に汗を拭いた後などは気化熱の作用の影響を受ける事があります)。

体温が高めに表示されるケース

- 本品を測定直前まで室温が低い場所に保管しており、本体の温度が室温より低くなっている。
- 測定直前まで、測定対象者が直射日光、暖房器具の熱気が当たる場所にいた。

## 13. 保証

- 本品の品質保証期間は、購入日から1年間です。
- 保証期間中、故障品は無償で修理、交換致します。
- 使用者の不注意による破損は、本保証を適用しません。
- 保証期間内でも、下記の場合には有償修理になります。
  - ✓ 取り扱いの過誤（落下など）により発生した故障
  - ✓ 正しい状態でご使用にならなかった場合
  - ✓ 製品の改造、不当な修理により発生した故障
  - ✓ 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障および損傷
  - ✓ 故障の原因が本品以外に起因する場合
  - ✓ 上記以外で弊社の責に帰すことのできない原因により発生した故障
  - ✓ 保証書のご提示がない場合
  - ✓ 保証書にお買い上げ年月日、販売代理店名の記載がない場合、また、字句を書き換えられた場合
- 保証外の修理につきましては、別途修理費用が発生致します。
- 別途修理費用が発生する場合は、お問い合わせ窓口となる「株式会社 MISORA」から見積書を提示させていただきます。
- 修理後、保証期間の延長は致しません。

# お問い合わせ窓口

修理・製品に関するお問い合わせは、下記宛にお願いします。

株式会社MISORA（サーモファインダーPro総販売元）

住所：　〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町16番1号　東益ビル5階
電話：　03-6231-1241　受付時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）

# 保証書

この度は、お買い求めいただきありがとうございました。本品は厳格な検査を行い、高い品質を確保しております。しかしながら通常のご使用において万一、不具合が発生しました時は、保証規定によりお買い上げ後、一年間無償修理致します。

<table>
<tr><td>製品</td><td colspan="2">皮膚赤外線体温計　サーモファインダーPro</td></tr>
<tr><td>型番（シリアル番号）</td><td colspan="2">FS-300　（　　　　　　　　）</td></tr>
<tr><td>お買い上げ年月日＊</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td>販売代理店名＊</td><td colspan="2">㊞</td></tr>
<tr><td colspan="3">顧客情報</td></tr>
<tr><td colspan="2">ご芳名：</td><td>お電話番号：</td></tr>
<tr><td colspan="3">ご住所：</td></tr>
<tr><td colspan="3">製造販売業者名　株式会社 HuBDIC-Global（ヒュービディック・グローバル）<br><br>住所　兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2<br>神戸国際ビジネスセンター659<br><br>電話　078-302-2100<br>FAX　078-302-2030</td></tr>
</table>

＊お買い上げ年月日、販売店名につきましては、必ず販売代理店にて、記入していただいてください。

【販売業者、製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

＜総販売元＞
株式会社 MISORA（ミソラ）
住所：〒103-0015　東京都中央区日本橋箱崎町 16 番 1 号　東益ビル 5 階
電話：　03-6231-1241　　　受付時間：10:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）
※修理・製品に関するお問い合わせは、㈱MISORA 宛にお願いします。

＜製造販売業者＞
株式会社 HuBDIC-Global（ヒュービディック・グローバル）
住所 : 〒650-0047　兵庫県神戸市中央区港島南町 5-5-2 神戸国際ビジネスセンター659
電話：078-302-2100

＜製造元＞
HuBDIC Co., Ltd （ヒュービディック）

＜輸入先国＞
大韓民国